

# 特報

ブツ飛び回転ハリネズミアクション



## ソニック・ザ・ヘッジホッグ

発売日	7月26日	メディア	ROM
メーカー名	セガ	ジャンル	アクション
価格	6000円(税別)	継続機能	コンティニュー
容量	4M	モード対応	

目にも止まらないスピード、センスのいいグラフィック、細かくスムーズな動きをするキャラクタなど、「本当にメガドライブ用?」と疑ってしまったほど。セガが自信を持ってお送りする、アクションゲーム超大作だ。

## スピード感抜群の音速アクションゲーム

幻の「カオスエメラルド」が眠るといわれているサウスアイランド。悪名高き天才科学者Dr.エッグマンはこの島に住む動物たちをロボットに改造してしまったのだ。

唯一、ロボットに改造されなかつたハリネズミのソニックはサウスアイランドに平和を取り戻すため、Dr.エッグマンの待つ要塞へと向かっていくのだった。



メガドライブソフトの常識を覆すような素晴らしいアクションゲームだ

### ゲーム史上最速、まさに音速！

このゲームをプレイして最初に驚くことは、ソニックの動きがムチャクチャに速いこと。ゆっくり歩くこともできるのだが、だんだんとスピードを上げていくとソニックがクルクルと足を回して走り出す。そして最後にはスクロールが間に合わず、ソニックが画面を飛び出していくっててしまうほど。まさにソニック（音速）だね。

まるまる坂を一気に下ると…



ソニックが画面の外にブツ飛ぶぞ

©SEGA

# 斬新な“ソニック”的ゲームシステム

このゲームはよくありがちなアクションゲームでありながら、いろいろなところに斬新なシステムを採用している。

中でも一番の特徴はリング。1つでも持ていればミスしてもソニックが死ないので、けっこう思い切ったプレイができるのだ。スピード感を楽しむソニックならではのシステムといえるだろう。



○ゴールに行けばいいだけのアクションゲームだが、斬新なシステムを採用

## リングさえあれば大丈夫

ソニックはリングを1つでも持ていれば敵や針に当たっても死ぬことはない。だが持っているリングは1つ残らずバラまいてしまうので、急いで回収しよう。とにかくリングを1つでも多く集めておくことが大切となる。



○リングを一つでも多く集めるのが基本だ



○もし、ミスしてリングを全部バラまいてしまったとしても大丈夫

## レバー+1ボタンのカンタン操作

このゲームは何と、ソニックの複雑な操作をレバーとボタン1つだけでカバーしている。最近のアクションゲームはなにかと複雑な

ことができる反面、操作方法が複雑になりがちだった。これで初めてゲームをする人でも安心してプレイすることができるだろう。



○こんなに複雑なアクションも操作はカンタンなのだ

## 走る

方向ボタンの右あるいは左を押し続けるとソニックは走ることができる。もちろん上り坂ではスピードが落ちるし、下り坂では加速がつく。よりスピードを出したいときは走りながら方向ボタンの下を押してまるまれば速いスピードで移動することができる。



○加速をつけて、一気に坂を登ろう

## まるまる

横方向に移動しながら方向ボタンの下を押すと、ソニックはまるまるることができる。まるまっている間は針のついていない敵に体当たりして倒すことができるのだ。



またジャンプ中は着地するまで常にまるまっている状態なので、危ないと思ったらジャンプしよう。

○まるまれば敵を倒すことができる

## 押す

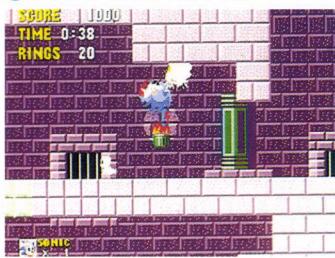
ソニックが何か壁などにくっついているとき、さらにそちらの方向に向かって方向ボタンを押すとソニックは手をついてそれを押す。ほとんどのものは動かないが、中には動くブロックもあるのでブロックを見たらとにかく押してみよう。何かが発見できるかも？



○ブロックがあったら押してみよう

## 敵を倒す

ソニックはまるまっている間、敵に体当たりすると倒すことができる。ただし、背中に針が生えているような敵は要注意。針の部分に当たらないように体当たりしないと逆にソニックがダメージを受けてしまうぞ。地面を歩きながらまるまる練習をしておこう。



○まるまつて敵に体当たりだ

○背中に針がついている敵はまるまつてもダメージを受けるのだ



○背中の針に当たらないように、頭だけを狙って体当たりしよう



# ソニックを待ち受ける、楽しい(?)トラップの数々

Dr. エッグマンの待つ要塞まで行くためには、サウスアイランドに用意された数々のトラップをくぐり抜けなければならない。だがその難しいトラップをクリアしていくのがソニックの楽しさの一つでもあるのだ。ここでは数多いトラップの中でも、前半ステージに登場するものを紹介しよう。

## くずれる床

ソニックがその場所に乗ると、いきなり崩れだす床がある。ここは一気に駆け抜けてしまえば全く問題がないのだが、崩れたのにビックリして立ち止まってはいけない。のために加速が足りなくて坂を登り切れないというトラップもある。歩くスピードでも十分間に合うので、アセらないように。



● トランプは苦しいけど、楽しいよね

## 360度ループ

360度ループは加速をつけて一気に走り抜けなくてはいけないトラップ。途中で立ち止まったりすると戻ってしまうし、ちゃんとルー

● 加速をつけて一気にかけ登ろう



プを通過しないと先に進めないのだ。ただし、ループの先には何があるか分からないので通過した後は減速するよう。



● グルリと1回転して通過できる

## 細い場所

ソニックは自分の身長より細い場所にくると、勝手にまるまるてしまう。細い場所はたいてい下り坂になっているので、加速がつい



● 細い場所は勝手にまるまる

● すごいスピードで駆け抜ける

てしまいゴールでスペシャルゾーンに行ける巨大リングを取り忘れる可能性が大きい。なるべくなら避けて通りたいところだね。



## スイッチを押すと…?

あちこちにあるスイッチだが、とにかく全部押してみよう。ドアが開いたり、足場が出現したりとクリアに必要な秘密が隠されているのだ。どこかで行き止まりになってしまったらスイッチを探してみてよう。押せば必ず何かが起こるはずだ。



● スイッチは必ず押そう

● このスイッチを押すと針が上がる



● ブロックをスイッチの上に乗せよう

## スプリングで大ジャンプ

スプリングに乗ると、ソニックはジャンプすることができる。スプリングには2種類あり、黄色よりも赤いスプリングのほうがより高い高度までジャンプすることができる。だがスプリングでジャンプしている間はまるまるがあるので敵に注意しよう。



● スプリングを利用して大ジャンプ



● 加速をつけてまるまるながらスプリングに体当たりする

## ブロックの上に乗り!

マーブルゾーンにある溶岩地帯はブロックに乗って通過すればソニックがダメージを受けることはない。でもただボーッと乗っているだけではダメだ。途中には一度、どこかに飛び乗ってから再びブロックに戻ってこなくてはいけない場所もある。ブロックから落ちてもアセらずにすぐに飛び乗ろう。



● おとなしく乗っているだけではダメだ

## ソニック・ザ・ヘッジホッグ

### アイデア満載！ ボスとの対戦

各ゾーンのエリアごとの終わりにはDr.エッグマンとの対決が待っている。

Dr.エッグマンは各ゾーンごとに自分の乗るマシンにいろんな仕掛けをしており、バラエティ豊かな対決が楽しめる。各ゾーン共通なのは、ソニックがまるまる体当たりして、Dr.エッグマンのマシンに何度もダメージを与えること。

○マシンの下面から針が飛び出し、降下してきてブロックを突き刺す



○そしてブロックを持ち上げて破壊してしまう。どんどん足場が少なくなる



グリーンヒルゾーンではマシンの下に巨大な鉄球をクサリでぶら下げ、振り子のように振り回してくれる。これを避けながらマシンに体当たりすればいいのだ。



○鉄球を避けながら体当たりしよう



○マシン下部から炎を発射してくる

### 思わずタメ息のスペシャルゾーン

各エリアの中でリングを50個以上持ったままゴールまで来ると、ゴールに巨大なリングが出現する。これを取ればスペシャルゾーンへと行くことができるのだ。

スペシャルゾーンでは自分は常にまるまつ状態だが、左右への移動やジャンプはできる。だがフィールドは勝手に回転しているので、思うように操作できない。赤く、GOALと書いてある部分に触るとスペシャルゾーンから出てしまうので注意しよう。途中にあるRというマークに触るとフィールドの回転が逆向きになるので、使いこなせば楽勝だ。



○巨大なリングを取ればOKだ

○最初は鳥だった背景が崩れていく



○背景がグルリと変わり、今度は魚になった

### 開発担当のソニックチームにインタビュー

今回は『ソニック・ザ・ヘッジホッグ』の開発担当「ソニックチーム」にインタビューをお願いしてみた。

——ゲームデザインのメインコンセプトというのは何でしょうか？

スピード感（爽快感）と、今までにない自由度の高さ。あとはボール状になって転がることができる。それによって多彩なアクションを表現できるというのがコンセプトでした。

——グラフィックのセンスが今までのゲームとは格段に違いますが、誰が担当されたのですか？

グラフィックのプロデューサーとしてBIG ISLANDにお願いしました。背景に関してだけ、デザインは色の魔術師JINYAちゃんがやりました。

——音楽監督にDreams Come

Trueの中村正人さんを起用したのは、どういった理由によるものなのでしょうか？

キーコンセプトは、オシャレなファッシュンキャラクターでした。サウンドもゲーム業界にこだわらず、センスの良いイチゴ世代に納得してもらうアーティストとなり、中村正人氏にお願いしたわけです。

——今後、セガさんとしてはソニックをイメージキャラクターとして売り出していきたいということなんですが、どのような形で行う予定なのでしょうか？

案としてはUFOキャッチャーの中身のヌイグルミを全部ソニックにしてしまうとか、ファーストフードのトレイの底にひく紙にソニックを使ってみたりなど。



○音楽監督を担当した、Dreams Come Trueの中村正人氏